

厳冬期の災害対策を

体験型防災訓練を実施

2025年2月21日の放課後から22日の朝までの二日間、多目的ホールと体育館で東区冬期体験型防災訓練が行われた。

今回の防災訓練では、寒い厳冬期に災害が起きた場合を想定して行っており、就寝時ま



講演会

まず初めに実際の避難所の様子について講演会を行いました。その中では厳冬期の避難所での生活がどれだけ大変なのか、また少しでも快適に過ごせるようにどのような工夫がされているのかなどについて教えてもらった。

この時点で多目的ホール内はかなりの寒くなっている様子。ジャンパーを着ている人も多く見られた。

その後3つのグループに分かれて講座が開催された。まず、校舎の外では地震による落石で埋まった方を

開成校新聞

発行
開成中等新聞局
発行責任者 宮崎 * *
* * 制作者
北條 山内 山崎

発行
開成中等新聞局
発行責任者 宮崎 * *
* * 制作者
北條 山内 山崎

1/365コマ

1年生が部活動や外局に入って活動をしている様子を校内の様々などころで見ることができるようになった。先輩方も、1年生達もお互いコミュニケーションをとりながらがんばってください!!

房機器での火災が発生しやすいため、実際に炎を出して消化する訓練や給水車での給水訓練が行われ、そして、校舎の中では非常食火を使わずに暖める訓練、段ボールベッドやキャンプ用の簡易ベッドの体験、水で戻した非常食とお湯で戻した非常食を比較した試食、非常用防災訓練の展示会の見学を行った。

生徒企画

前半では新聞紙で災害時に足を守るためのスリッパを作る体験、5人で協力して緊急地震速報の台本を書きその台本を実際にカメラの前で読み上げるアナウンサーの体験、SNSの情報を見分けるために自分でフェイク画像を作ってみる体験の3か所ありそれぞれ行ききたいところに分かれて体験を行った。

後半ではクイズ研究会が企画したクイズで4つのチームに分かれて対決した。防災に関するお題に沿った番号や図形などがたくさんあり、選ばれた中から正解を数で競った。



次に障害物に隠された防災用品を見つけた数を対決するゲームを行った。場合によっては見つけた防災用品をもらえることもあり、とても楽しそうに行っていた。

就寝

この防災訓練だけでなく行動に移していくことが大切だ。

翌朝インタビューをすると、やはり寒かったという声や、体育館という一つの部屋、さらには音の響く空間だったため周りが気になってしまっていた。寝ることができなかった、床が固かったなど様々な理由で寝られなかったという人も多かった。実際の避難ではより多くの人と共同生活をする必要があったり、不安な状態、パニック状態のため眠れず寝づらい状況になるだろう。